

令和7年度 大謝名小学校の取り組み

1 研究主題

英語に親しみ進んでコミュニケーションを図ろうとする児童の育成
～言語活動の工夫を通して～

2 研究主題設定の理由

近年、グローバル化社会が急速に進展する中で、外国語によるコミュニケーション能力の向上が求められている。学校で行われる外国語活動においても、従来の「慣れ親しむ」から、ある程度の「習得・活用の力」を育成する必要があるため、カリキュラムの再編成と指導の準備を行わなければならない。

本校では、これまでも歌やゲーム、簡単な会話練習、ICT や図書などを取り入れ、幼稚園を含む全学年の児童が楽しく活動できる工夫に努めてきた。その結果、児童の多くが「英語の授業が楽しい」と答えており、意欲的に授業に取り組む様子が見られた。しかし、学習指導要領の改訂により、これまでの「説明・練習→コミュニケーション活動」という流れではなく、「コミュニケーション活動の中で、自力で既習事項を思い出して使いながら、自然に習得していく」ための授業づくりへと変えていく必要がある。「楽しい」だけではなく、目的や場面、状況に応じて、伝えたい内容に即した伝えるための英語表現の習得を図る工夫が課題となっているのである。

そこで、低学年からの既習事項を漆塗りのように何度も修正を重ねながら、相手や目的に合わせて言語材料が使えるように言語活動の工夫を通して、相手に配慮しながら工夫して伝え合い、外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさや意義を感じることで児童の育成を図りたいと考え、上記の主題を設定した。

ゲームや歌、単語練習で終わるのではなく、歌詞の一部を自分に関することに置き換えて表現したり、相手の反応を見て、ジェスチャーなどを使い工夫したりしながら互いの気持ちや考えを伝え合う言語活動や、目的や場面、状況を明確に設定するなどの言語活動を通して、相手を理解し、リアクションをするなど、互いに認め合うコミュニケーションの資質・能力を高め、主体的・対話的な深い学びを目指していきたい。さらに今年度は、「読む・書く」の基礎の力・自ら読んだり書こうとしたりする態度の育成のために、「読むこと」「書くこと」にも意識して指導していきたいと考える。

3 研究の主な内容

(1) 目標

- ①外国語活動を通して、自他の文化や生活習慣などに対する興味・関心・意欲の育成を図る。
- ②外国語活動を通して、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる。
- ③外国語活動を通して、コミュニケーション能力を育て、他者を理解しようとする態度を育成する。

(2) 指導方針

- ①児童の実態に応じ、系統的な年間指導計画の作成を行う。
- ②単元終末段階の児童に臨む具体的な姿のイメージをもち、単元を見通した課題設定をする。
- ③4月に各学年で外国語活動の進め方の共通理解を図り、ALT とのチームティーチングの仕方などを確認する。
- ④学年会の時間に、ALT と HRT による単元ごとの打ち合わせを毎週または隔週行い、授業の内容と進め方を確認し、学年の共通理解を図る。
- ⑤ICT の活用や資料・掲示物の工夫により、英語ルームの環境を整える。

- ⑦教材・教具・ワークシートの工夫を図る。
- ⑧多様な学習活動を組み合わせた授業づくりとペアやグループなどの学習形態の工夫を図る。
- ⑨ICT機器を活用した言語活動の充実を図る。
- ⑩毎時間、振り返りカードやリフレクションをする時間を設け、児童が学習の見通しを立てたり、振り返ったりできるようにする。
- ⑪委員会活動や行事において英語アナウンスを取り入れ、英語表現に触れる機会を設定する。
- ⑫クリスマスやハロウィンなどの異文化の行事に触れさせ、児童の視野を広げるとともに、異文化を尊重する態度を育てる。

4 各学年の目標

学年		目標	題材
低学年	触れる	<ul style="list-style-type: none"> ・歌、リズム遊び、ゲームなどの活用を通して、英語のリズム、イントネーションを体で感じ取り、楽しく英語に触れる。 ・英語をよく聞き、大きな声でまね、意思表示がはっきりできる。 ・外国のことに興味・関心を持ち、コミュニケーションを図ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶・自己紹介・気分・曜日 ・天気・数・色・形・文具 ・果物・野菜・動物・虫・体 ・好き・嫌いな物・ハロウィン ・日本の遊び・外国の遊び・ ・クリスマス・英語の歌・ ・サンクスギビング・チャンツ・ ・家族・スポーツ
中学年	慣れる	<ul style="list-style-type: none"> ・歌・リズム遊び、アクティビティなどの活動を通して、英語のリズム、イントネーション、基本的な英語表現に慣れる。 ・英語での挨拶や簡単な英語でのやり取りを進んでやろうとする。 ・聞きたいこと、言いたいことを中心にコミュニケーションを図ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶・自己紹介・気分・月 ・曜日・天気・数・果物・野菜 ・学用品・色・形・動物 ・アルファベット・体の部位 ・動作・遊び・衣類・生活日課 ・英語の歌・チャンツ
高学年	親しむ・伝え合う	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の生活場面や状況に応じた英語表現を聞いたり、使ったりする活動を通して英語に親しむ。 ・相手の話す英語をよく聞き、伝えたいことを簡単な英語で話すことができる。 ・生活や考え方を尊重しつつ、コミュニケーションを図ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶・自己紹介・行事・月 ・日付・感情・飲食物・スポーツ ・生き物・色・形 ・アルファベット・学用品・教科 ・曜日・職業・動作・位置・場所 ・値段・施設・道案内・世界の国 ・世界の童話・動詞の過去形 ・can・三人称・英語の歌 ・チャンツ

5 英語活動の実践の様子

【5年生】Lesson 7 『I love my town.』（全8時間）

(1) 計画案

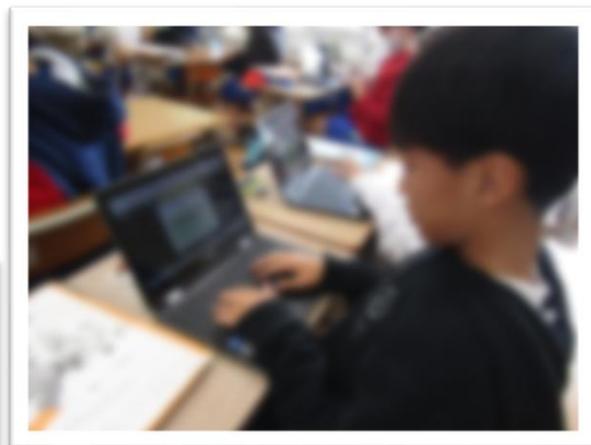
Lesson 7 I love my town. / 自分たちの「町のすてきなところ」について発表することができる。									
Lesson									
単元目標	自分たちの住む地域をよく知ってもらうために、おすすめの場所について、自分の考えや気持ちなどを含めて話したり、例文を参考に書いたりすることができる。また、地域について書かれたものを読んで意味が分かる。								
No	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	
目標	自分たちの町にあるもの、ないものを伝える表現を知る。	町にある施設や場所について、その様子などを伝える表現を知る。	町にある施設や場所について、その様子やできることなどを伝える表現を知る。海外にある施設や場所について内容を聞き取ることができる。	町にある施設や場所について、その様子やできることなどを伝える表現を知る。海外にある施設や場所について内容を聞き取ることができる。	沖縄にある施設や場所について様子やできることをグループで考え、発表の準備をする。	沖縄にある施設や場所について様子やできることをグループで考え、発表の準備をする。	沖縄にある施設や場所について様子やできることをグループで考え、発表の準備をする。	沖縄にある施設や場所について様子やできることをグループで考え、発表の準備をする。	世界の町の業敵などについて聞いて理解することができる。単元テスト
言語材料	We have _____. We don't have _____.	We have _____. It's big, small...beautiful. We can _____.	We have _____. It's big, small...beautiful. We can _____.	We have _____. It's _____. We can _____.	We have _____. It's _____. We can _____.	We have _____. It's _____. We can _____.	We have _____. It's _____. We can _____.	We have _____. It's _____. We can _____.	We have _____. It's _____. We can _____.
1	スモールトーク	スモールトーク	スモールトーク	スモールトーク	今日のめあて	今日のめあて	今日のめあて	今日のめあて	
2	今日のめあて	今日のめあて	今日のめあて	今日のめあて	Let's listen and read 2	Let's read 1	語彙練習	Around the world	
3	語彙練習	Let's watch and think 1	Let's listen 2	Let's listen 3	アクティビティー	アクティビティー①	グループ発表	Letter Box	
4	アクティビティー	語彙練習①	語彙練習	語彙練習	Let's write 2	語彙練習	振り取り+終わりのあいさつ	単元復習	
5	Let's listen 1	アクティビティー	アクティビティー	アクティビティー	語彙練習	アクティビティー②		単元テスト	
6	振り取り+終わりのあいさつ	Let's play 3	Let's listen and read 1	Let's watch and think 3	アクティビティー	振り取り+終わりのあいさつ		終わりのあいさつ	
7		語彙練習②	Let's write 1	振り取り+終わりのあいさつ	振り取り+終わりのあいさつ				
8		振り取り+終わりのあいさつ	振り取り+終わりのあいさつ						

(2) 活動の様子

<第7時> 沖縄の素敵な場所をグループで紹介しよう♪

発表に伴い、グループで沖縄の素敵な場所を話し合い、写真も何枚か選び準備万端。グループごとに発表した沖縄の素敵な場所は、重なることもなく、沖縄を訪れる外国の観光客または外国にいる同年代の児童にみてほしいと思うくらい上手にできました♪

"We have Tropical Beach. We can play beach volleyball. We can enjoy BBQ. It's fun."



【6年生】 Lesson 8 Junior High School Life (全8時間)

中学校で入りたい部活と楽しみな行事を聞いたり答えたりする表現に慣れるため、表現の確認の後に、グループに分かれゲームをしながら、英語の表現に慣れ親しみました。本時で英語の表現に慣れた後、次時では自分の入りたい部活や楽しみたい行事を伝え合います。



[国際交流]

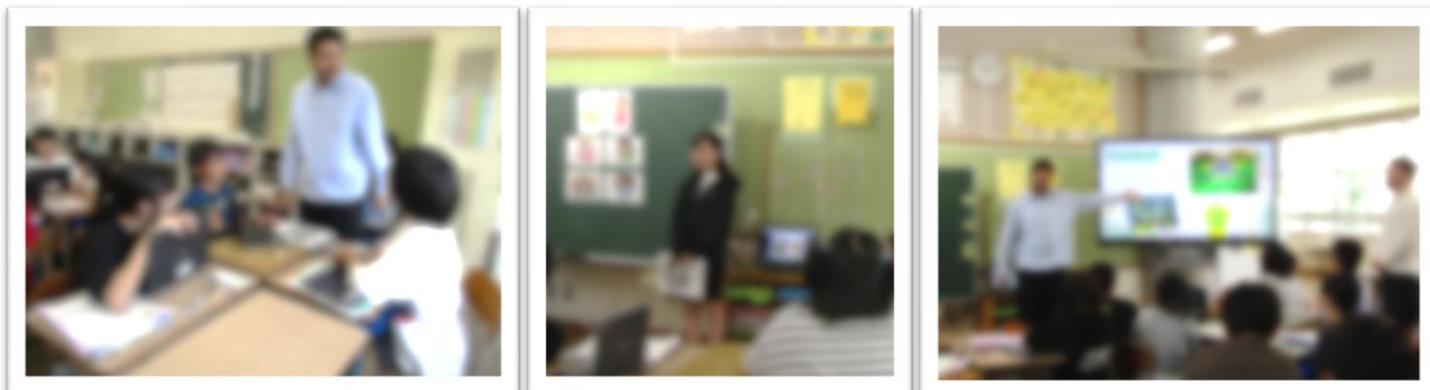
① 5年生

6年生での国際交流会を見据え、異文化理解を促進するため外国の方を招き交流会を実施しました。韓国出身で県内の大学に通う海外留学生を招き、児童による英語での自己紹介を始め、ゲストには韓国のことばや文化などを英語で教えてもらうなど異文化理解を深めることができました。



② 6年生

<交流1回目>L3 Welcome to Japan の単元では、海外の方々が好きな日本文化を知り、日本や沖縄の行事を紹介するフレーズを学びます。実際にゲスト(イギリス・ブラジル出身の海外留学生)を前に、グループ発表とグループから選ばれた代表者による自国の文化紹介を行いました。



<交流2回目>L5 Where do you want to go? の単元では、行ってみたい国でできること・食べ物や観光名所などを紹介します。児童の海外への興味関心が高まる中、今回はインド生まれカナダ在住のゲストをお呼びし、インドとカナダの文化を学ぶ機会としました。とりわけ、インドのスポーツ、カバディは実際に体育館で体験し、日本の鬼ごっこに似ていますがルールが面白く、新しいスポーツを楽しむことができました。



① 低学年

1年生 聞き取りが上手な1年生。歌や体を動かすゲームしながら学習します♪

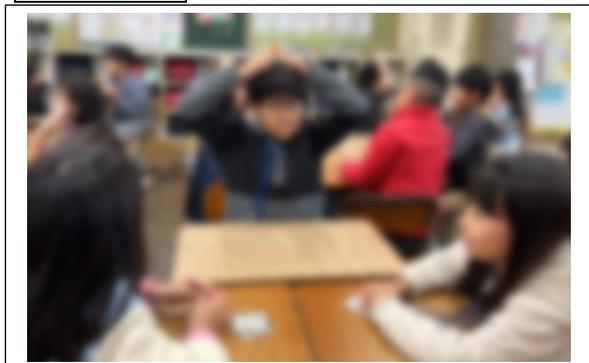


2年生 音楽に合わせて身体表現したりゲームを取り入れたり楽しく学習します。



② 中学年（慣れる）英語の聞き取りと簡単な会話に重点を置いた授業展開

3年生 動物の特徴や鳴き声を英語で表現し、それをヒントに何の動物かあてる。



4年生 自己紹介と好きな食べ物や色を伝え合いながら交流する。



③ 高学年（親しむ・伝え合う）英語の聞き取りと会話に重点を置いた授業展開

5年生発表は、実践形式で楽しむ♪ **6年生**海外の方と交流し普段の学びを実践へ♪



店員:What would you like?
客: I'd like a hamburger and a juice.



児童: Hi, I'm _____.Nice to meet you. I like music.

6 成果と課題

(1) 成果

- ミーティングを密にとることで、授業をスムーズに進めることができた。
- ICT や教材教具の工夫により、児童が興味関心を持って楽しく学習することができた。
- 既習のフレーズが言えるかの確認を行うことで、少しずつ定着する様子が見られた。
- 低学年では、楽しく取り組める歌やダンス、さらに全学年でゲームを取り入れることで、親しみを持ちながら意欲的に参加する児童が増えた。
- 低学年のうちから ALT の先生の英語を聴きながら、まねっこ遊びの感覚で自然に発音が身に付いた。
- 行事と関連付けた学習内容にすることで、生き生きと英語で表現することができた。
- ALT が創意工夫した Activity を提案してくれ、充実した授業となっている。
- 書く活動を取り入れることで、児童が「英語を書く」ことに抵抗なく取り組んでいる。

(2) 課題と改善案

課題	改善案
<ul style="list-style-type: none"> ●机、椅子のない教室で書く活動を行うには、やりづらさがある。 ●床に1時間座れない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レessonプランに応じて学年教室を使用することで児童の活動にやりやすさがある。 ・今年度、3年生は教室で授業をしているが、ペア活動や振り返りなどを書くなどにおいて良かったので、中学年からは教室で授業をすると良い。(場に応じて英語ルームを使う)
<ul style="list-style-type: none"> ●学年によって授業がスムーズに進めないことがある。 ●引継ぎに関する細かい話し合いの確保が困難。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT とのミーティングを密にとる。 ・OJT などを活用して、全職員が同じ授業ができるようにする ・教科担任制を活用する。
<ul style="list-style-type: none"> ●書く活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学年で、しっかりアルファベットの文字について(形や高さなど)を抑えられるようにする。 ・高学年では、書く活動を継続していく。

7 外部評価について（保護者アンケートより）

保護者アンケートの「子どもは英語の授業が楽しいと言っている」の項目では、①よくあてはまる（55%） ②あてはまる（27%） ③あまりあてはまらない（13%） ④あてはまらない（5%）であった。今後も「英語の授業が楽しい」と言えるような授業実践に取り組んでいく。